

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名	高松市浅野児童館		
指定管理者	浅野校区コミュニティ協議会	施設所管課等	子育て支援課
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	非公募
所在地	高松市香川町浅野826番地8	業務の概要	・児童の健全育成業務 児童館行事、自由来館の際の児童との関わりを通して、集団的・個別的に指導を行う。 地域における児童の健全育成活動 ・設備施設管理
施設の概要	(施設) 鉄筋コンクリート 2階建 (職員の状況) 非常勤職員2人、スタッフ7人 (開館時間) 9:30～18:00 日・祝・年末年始は休館		

	項目名	令和元年度	平成30年度	項目名	令和元年度	平成30年度
利用状況等	児童館利用者数	11,977 人	13,978 人	児童館開設日数	290 日	292 日
	自主イベント開催数	24 回	25 回			
収支状況等	指定管理料	8,368 千円	8,373 千円			
	支出実績	8,321 千円	8,325 千円			
	精算残額(市へ返納)	47 千円	47 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	0歳から18歳までの児童が安心して遊べる場所、また子育て中の保護者がくつろげる場所を目指して運営している。イベントの告知や実施については、浅野コミュニティセンターと連携して行うことも多い。浅野校区だけでなく近隣の校区からの利用者も多く、また中高生の利用もある。参加型のイベントは、乳幼児と保護者対象のもの、小中学生対象のもの、異年齢が交流できるものなど多種多様なイベントを実施し、幅広い年齢層が参加できるようにした。	A
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	3月に入ってから、新型コロナウイルス感染症に対する来館の自粛があり、また毎年多くの地域の人参加する「お茶会」が開催できなかった事もあり、来館者数が大きく落ち込んだが、他の月の来館者数はほぼ維持できた。2カ月に一度「じどうかんだより」を発行し、イベント等を告知した。高松市のホームページでおたよりを見て来館する人も多い。浅野校区コミュニティ協議会主催で開催している「あさのこどもまつり」では近隣も含め地域の子も達が多来場し、地域をあげて子育てを支援できた。また「ふれあいまつり」にも参加し地域との連携を更に深めた。浅野保育所や大野保育所の出前保育は年8回実施し多数の参加があった。浅野小学校や児童民生委員、保健師さんとは常に連携し、気になる児童については相談している。保護者からの子育ての相談などには真摯に対応し、必要に応じて他の機関を紹介した。	B
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	児童館行事や校区の学校の下校時間から見込まれる来館者数に合わせて職員やスタッフの効率の良いローテーションを組んだ。また、来館者が多くなる夕方のスタッフの人数を増やすなど、時間帯による細かい人員配置を行った。職員研修については、香川県児童館連絡協議会主催の研修会や子育て支援課主催の研修会に積極的に参加しスキルアップを心掛けた。スタッフを含めた職員の健康診断も行った。損害保険については、児童安全共済に加入し万が一の怪我や事故に備えたが利用者には大きな怪我や事故はなく、安全に過ごすことができた。施設の管理経費については、適切な執行管理に努め外部監査人の監査を受けた。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	冷暖房の温度設定を徹底するなど省エネに努めた。また、消耗品などの物品の購入はなるべく低価格で購入し、低コストを心掛けた。決算や監査結果については浅野校区コミュニティ協議会の総会資料において公開し、開かれた会計制度とした。	B

総合評価コメント	総合評価
条例や各種マニュアルを遵守し、施設の維持管理及び運営が適正に行われている。月に一度の避難訓練を実施しており、職員の安全管理意識の向上が図られている。 利用者が気軽に、快適に施設を利用できるよう、館長を中心として、職員全体でサービスの向上に努めている。職員の資質向上のため、香川県児童館連絡協議会や子育て支援課が主催する研修会にも積極的に参加し、研修で身に付けたスキルを施設運営や行事の内容に活かしている。 浅野校区コミュニティ協議会が指定管理を行っている浅野コミュニティセンターや地域の保育所と連携して行事を開催することで、地域に根差した子育て支援の拠点としての機能を発揮しており、子育て中の母親や親子を対象とした行事も毎年好評を得ている。また、地域の民生委員や保健師との連携により、個別の児童に対するきめ細かいケアが実施できていることも評価できる。 浅野児童館は、子育て支援課所管の児童館の中で最も利用者が多く、そのほとんどがリピーターであることから、利用者の満足度の高さがうかがえる。今後も引き続き利用者に寄り添った運営を実施することで、地域における児童健全育成活動の拠点施設としての役割を果たすことを期待する。 収支状況については、必要な内部監査が実施され、実績報告書も誤りがなく適正な報告がなされていた。	B